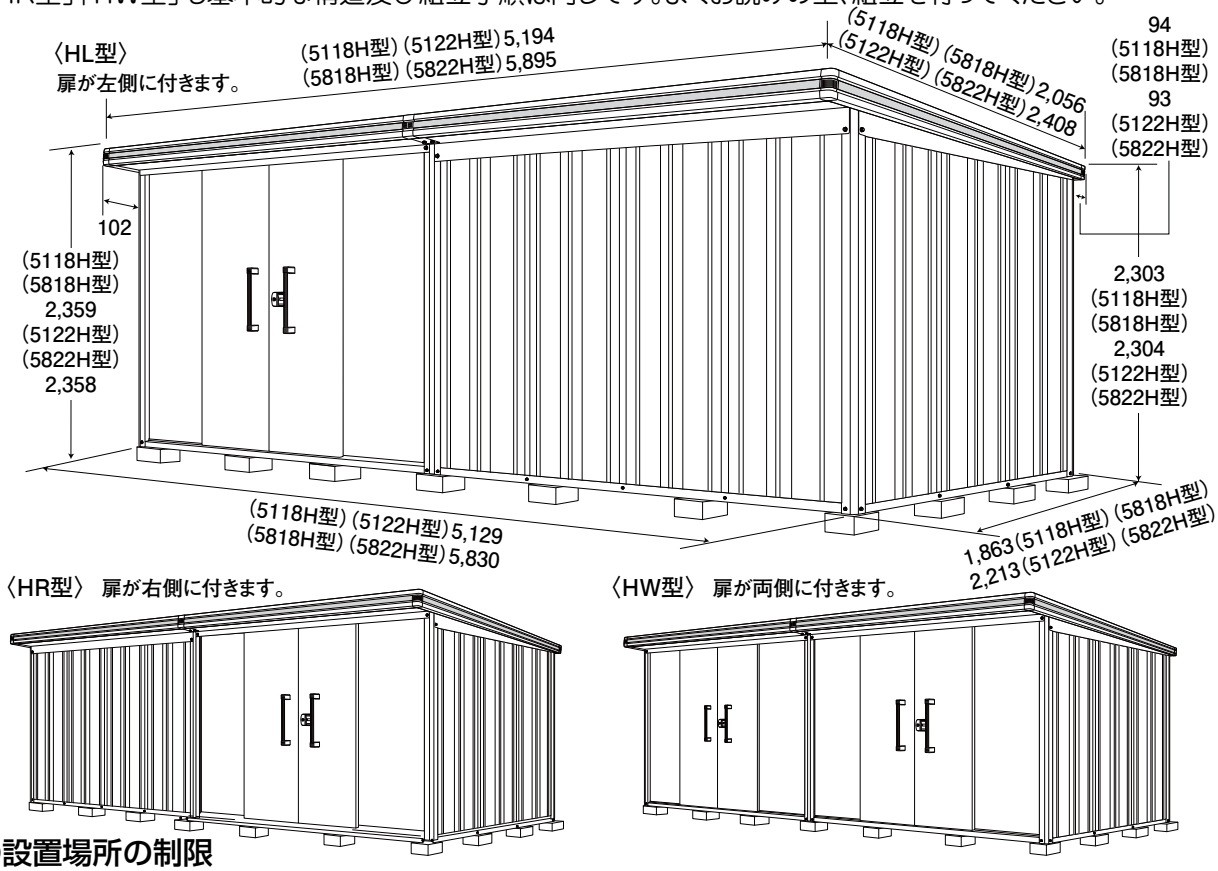
ヨド物置 エルモ

組立説明書 LMD-5118H型・5122H型・5818H型・5822H型

このたびは「ヨド物置」をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずお読みください。

※この組立説明書は「5822HL型」の組立手順を基準に説明しています。
「HR型」「HW型」も基本的な構造及び組立手順は同じです。よくお読みの上、組立を行ってください。



●設置場所の制限

⚠注意

●建物の屋上には設置しないでください。　●バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
●大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には設置しないでください。
●崖のふち・風当りの強い場所等安全の確認できない場所には設置しないでください。
●給湯器の前には設置しないでください。

●組立施工の際には

⚠注意

●アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。●組立の際には手袋を着用してください。
●梱包・組立部材で重量物は運搬、据付の際に複数人数で行ってください。
●組立部材には長尺で重い物もありますので振り回したり落としたりしないように注意してください。
●風の強い日・雨の日は、組立作業を避けてください。
●高い足場が必要な時は、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。
●組立後、各部のボルト・金具の締め忘れやゆるみがないか確認してください。

鍵は、扉の裏面に貼り付けてあります。

●施工にあたって

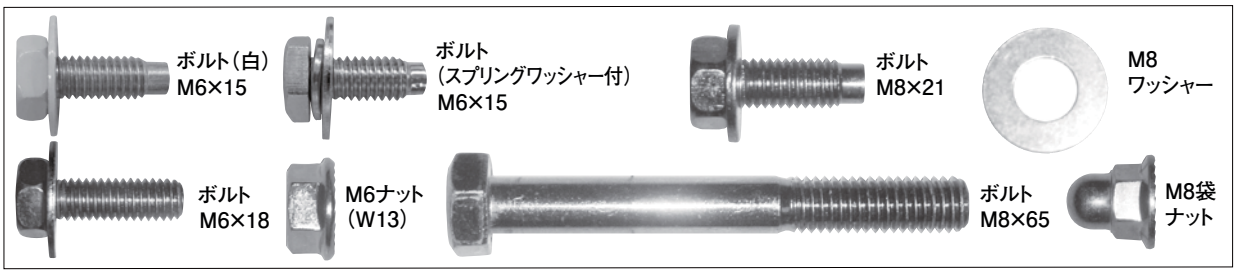
1.まず御注文通りの商品かどうかを確認してください。「HL型」は扉が左側、「HR型」は右側、「HW型」は両側になります。
2.部材の共通化のために、実際には使用しない孔の空いている部材がありますので、説明書に従って組立てしてください。
3.部材は、全て鋼製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。
※安全のため必ず手袋を着用してください。
4.部材名称の右･左は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
5.部材の組立ては、ボルトの孔に合わせて組立ててください。ボルト孔が合わなくなった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。

●基礎工事に必要なもの（市販品をご準備ください。）

･コンクリートブロック　28ヶ（幅19㎝×長さ19㎝×厚さ10㎝が適当です。）
･コンクリート（サイズは下図の穴サイズをご参照ください。）※土の上に設置する場合に必要です。
･芯棒打ち込み式アンカー（M12×70以上）6本※コンクリート床の上に設置する場合に必要です。

●組立てに必要なもの　･軍手 ･水準器 ･脚立 ･M6,M8ボルト締結用のスパナ又はモンキー

●使用ビス一覧



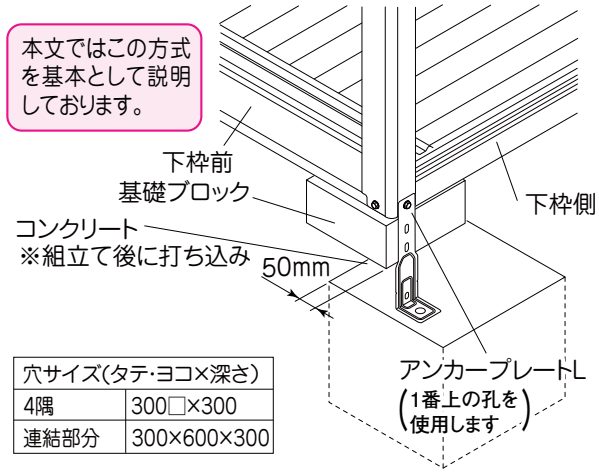
●アンカー工事について

アンカー工事は設置場所によって下図のような方法があります。強風による転倒防止のため、必ず行ってください。

注意　内アンカーにする場合はオプションの「内アンカーセット」が別途必要です。アンカープレート（L）を使って内アンカーの工事はしないでください。

《土の上に設置する場合》

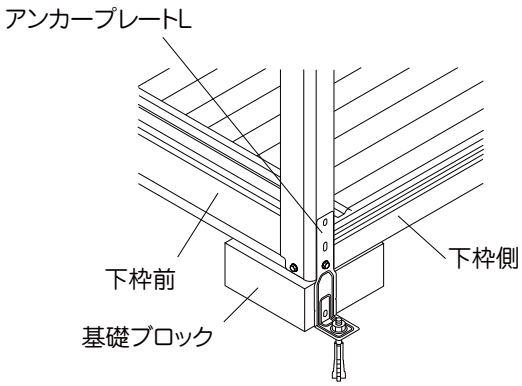
4隅･連結部分に穴を掘り（下図参照）、施工後にコンクリートを流し込んでアンカープレート（L）を固定します。



穴サイズ（タテ･ヨコ×深さ）	
4隅	300□×300
連結部分	300×600×300

《コンクリート床の上に設置する場合》

オールアンカー等、市販の芯棒打ち込み式アンカー（M12-70以上で）で固定してください。



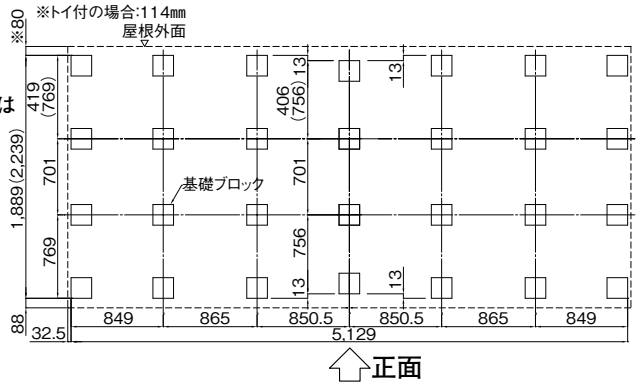
⚠注意　強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の実情（基準風速･凍上による不陸など）にあわせて設計･施工してください。

1 基礎施工

①設置場所の地ならし、地固めを行います。
②水準器を使って水平になるように基礎ブロックを図の寸法に並べます。（数字の単位は㎜）

5118H型
5122H型

※（　）内寸法は5122H型の寸法です。

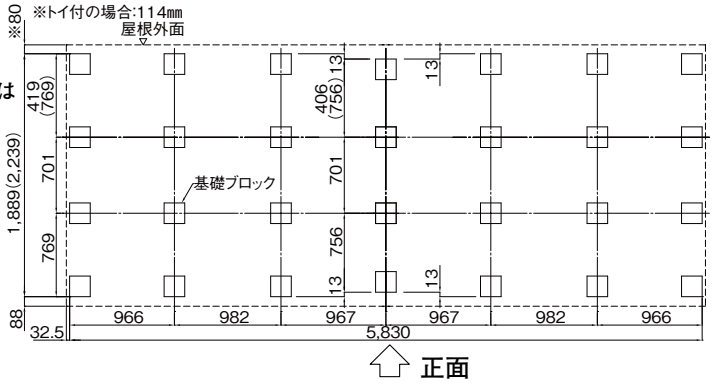


注意

基礎の水平が出ていないと以下のような不具合が出てきます。
・壁パネルが入らない
・扉がスムーズに動かない。
・鍵が掛からない。

5818H型
5822H型

※（　）内寸法は5822H型の寸法です。



注意

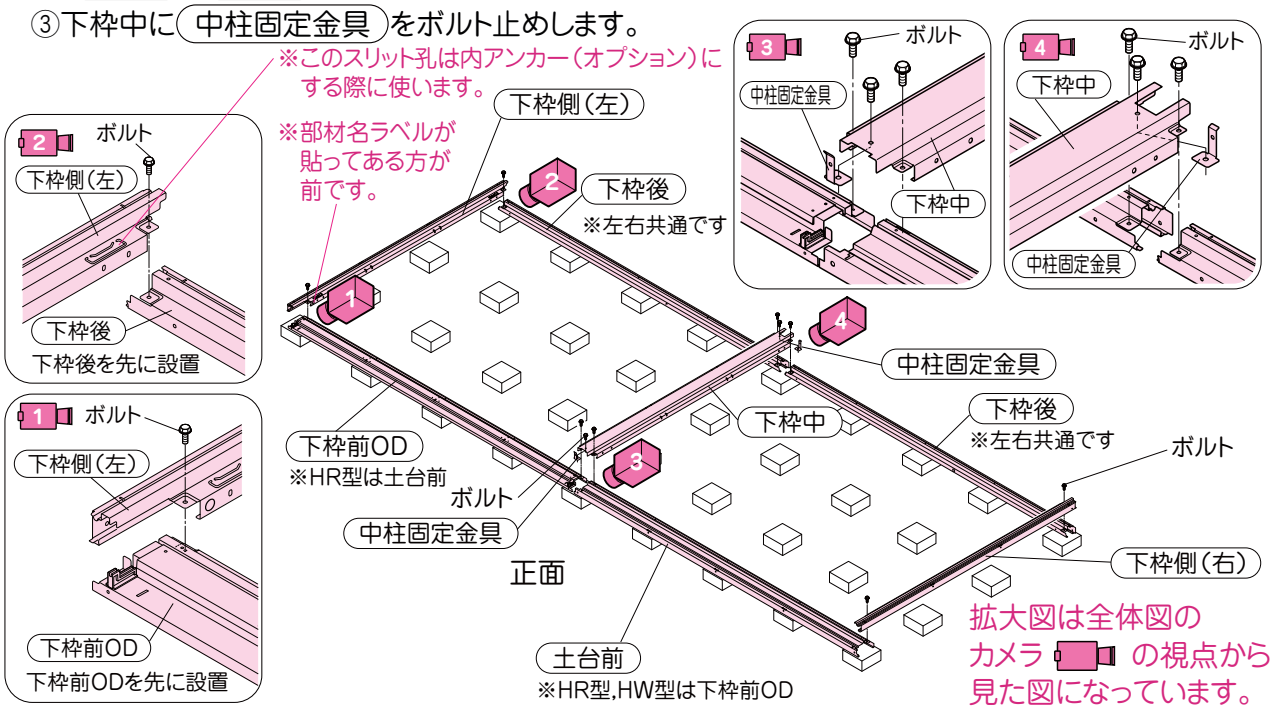
内アンカーにする場合は、設置位置が変わります。
内アンカーセット（オプション）の組立説明書を先にお読みください。

2 下枠の組立

※この工程はHL型で説明しています。

使用ボルト	10本

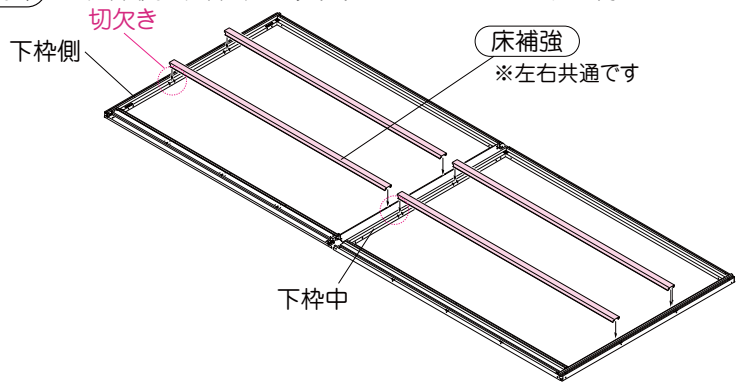
①（下枠前OD）・（土台前）・（下枠後）を基礎ブロックの上に設置します。
HL型は下枠前ODを左側に、HR型は右側に、HW型は左右両方に並べます。
②（下枠側）・（下枠中）を下枠前・後の上から設置してボルト止めします。
③下枠中に（中柱固定金具）をボルト止めします。



3 床の組立

使用ボルト	0本

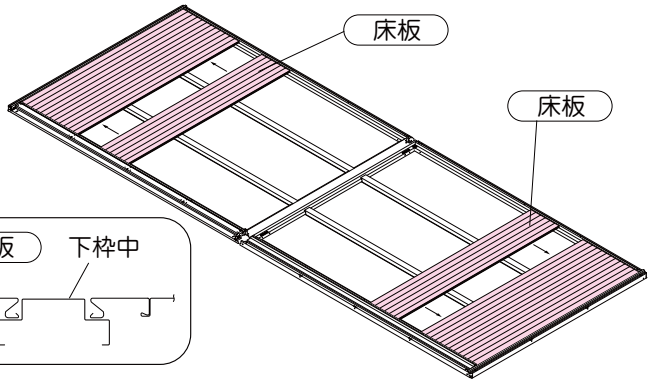
① 床補強 を下枠側･下枠中の切欠きに差し込んで取り付けます。

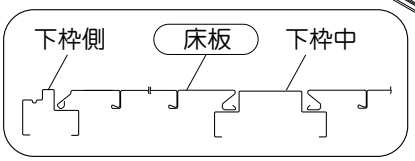


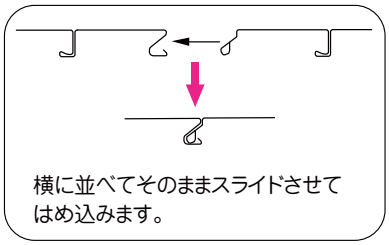
注意

内アンカーにする場合は、床を張る前にアンカー工事を行ってください。
※工事方法は内アンカーセット（オプション）の説明書をご参照ください。

② 床板 を端から中央に向かって順番に並べていきます。







注意

床板が下枠前後に対して斜めに納まる場合は下枠の対角を修正してください。

4 柱の組立

※この工程はHL型で説明しています。

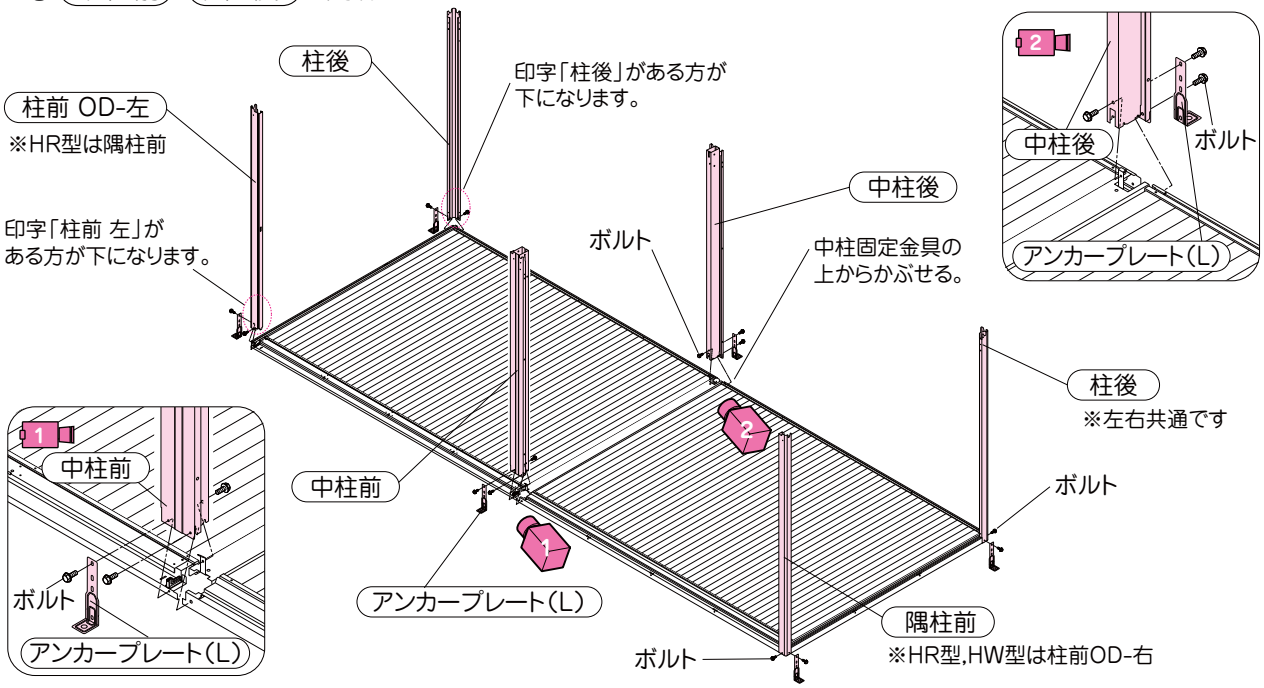
使用ボルト	14本

① 柱前OD･隅柱前･柱後 を下枠の4隅の切欠きに差し込んでボルト止めします。※外アンカーにする場合は同時にアンカープレート（L）をボルト止めします

② 中柱前･中柱後 も同様に差し込みボルト止めします。

⚠注意

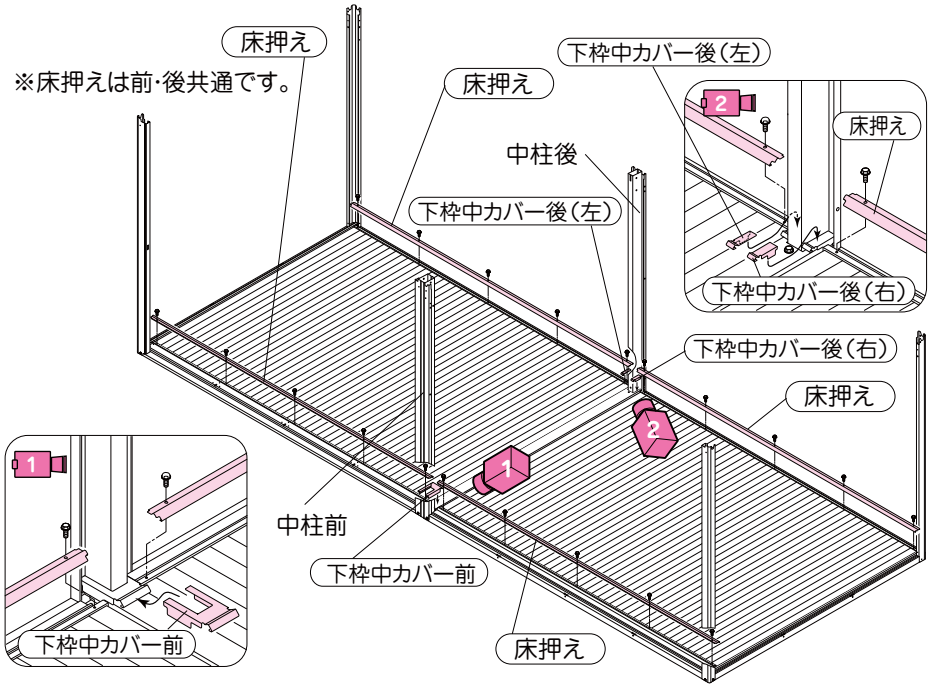
柱が倒れないように転倒防止を行うなど注意してください。

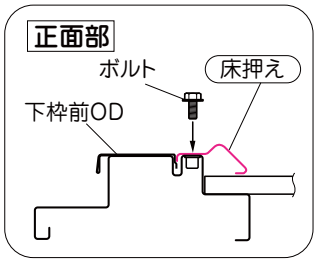


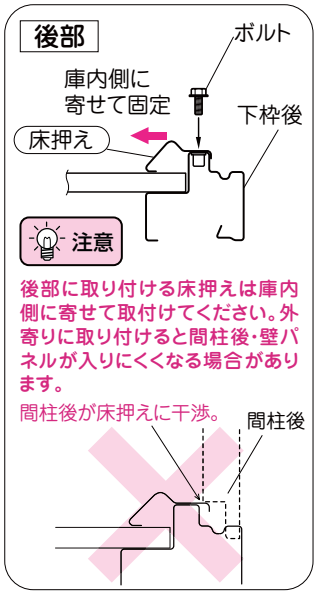
5 下枠中カバー・床押えの組立

使用ボルト	20本

①（下枠中カバー前）を中柱前の根本に設置します。
②（下枠中カバー後（右））・（下枠中カバー後（左））を中柱後の根本に設置します。
③床押さえを下枠前OD・土台前・下枠後に取り付けます。



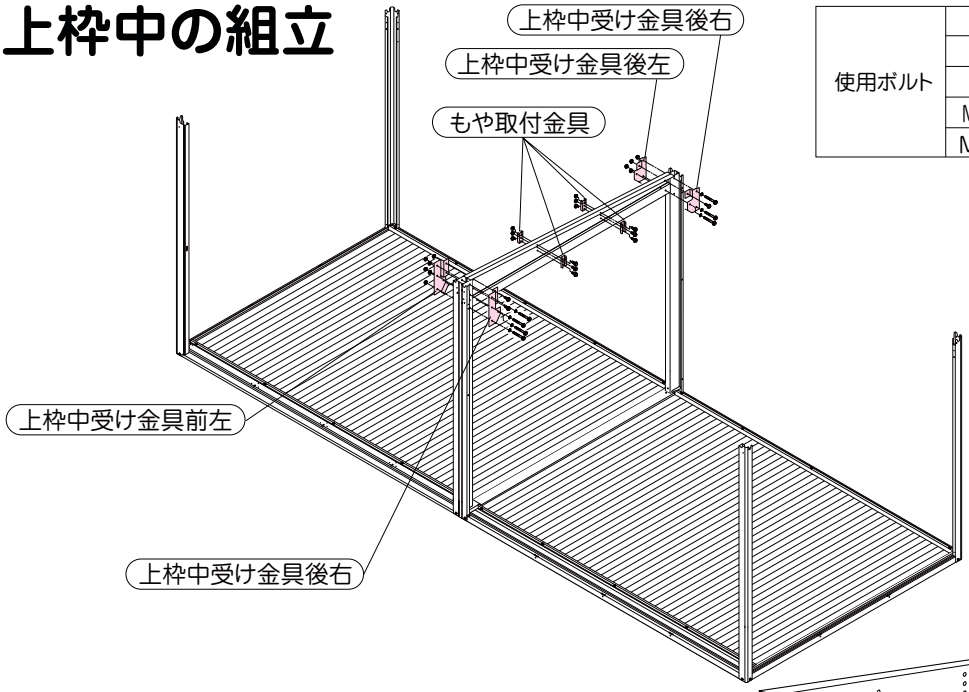




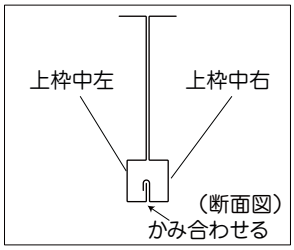
6 上枠中の組立

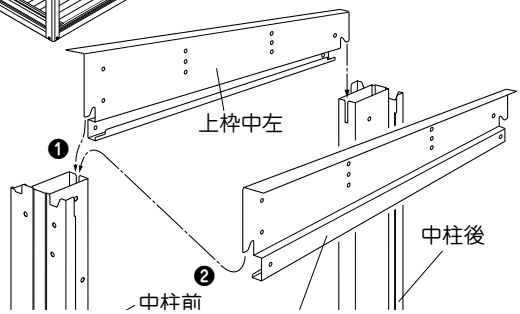
使用ボルト	M6×18 6本
	M6ナット 6ケ
	M8×21 3本
	M8×65+ワッシャー 7本（9本）
	M8袋ナット 10ケ（12ケ）

※（　）内は積雪型



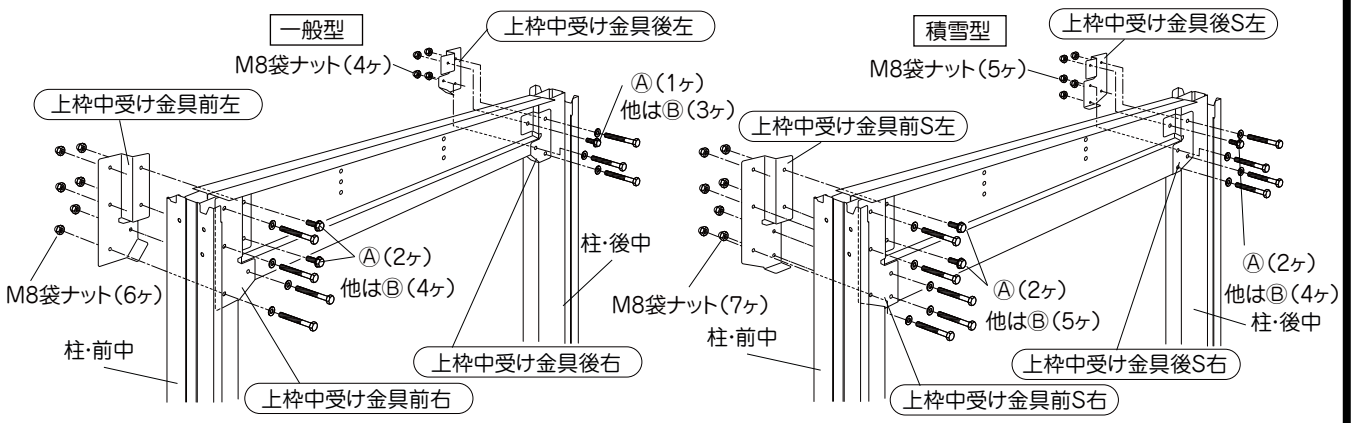
①中柱前と中柱後の室内側のスリットに、上枠・中左、中右のツメを引っかけて仮預けします。上枠中左と中右は、かみ合わせてください。



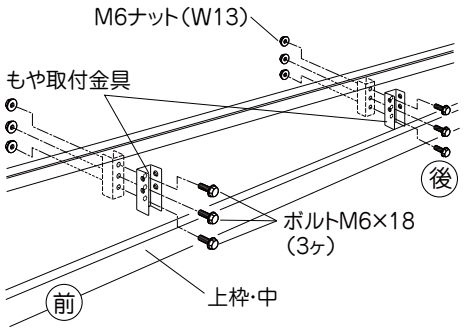


上枠中右

②上枠中と中柱前を、上枠中受け金具前右（左）ではさんで、ボルト（M8×65）・M8袋ナット・M8ワッシャーで固定します。
上枠中と中柱後も同様に固定してください。※一般型と豪雪型とで金具形状およびボルト類使用数が異なります。



③上枠・中の3つ乳に、両側からもや取付金具をボルト（M6×18）とM6ナット（W13）で取付けます。



Ⓐ:ボルトM8×21（ワッシャー付）
Ⓑ:ボルトM8×65 とM8ワッシャー

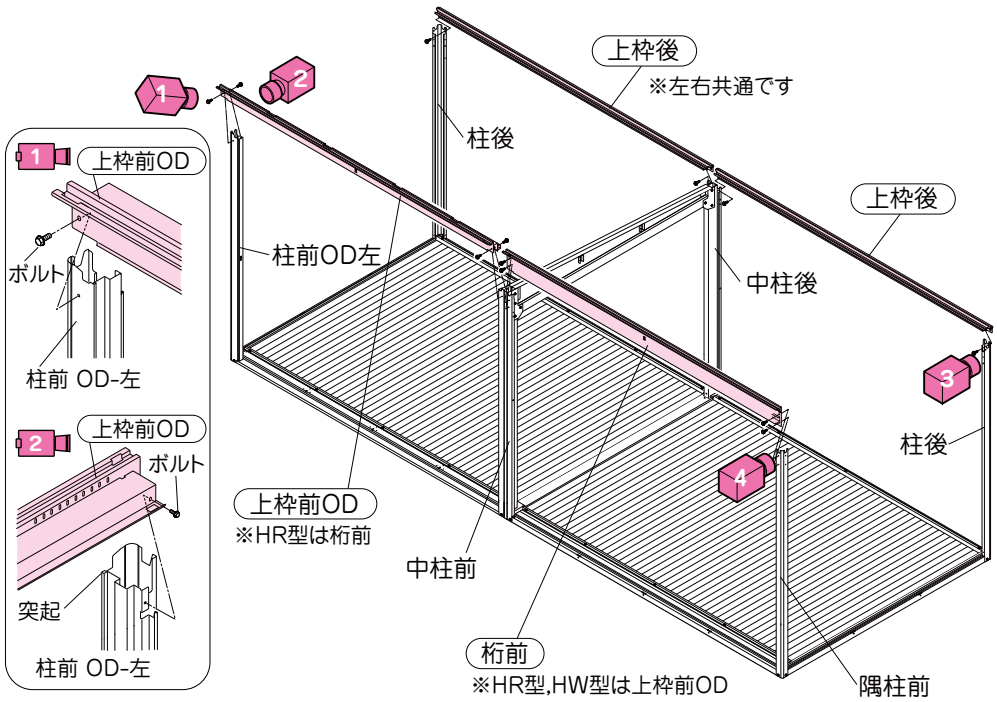
ワンポイント 上枠・中左、中右のかみ合わせ及びもや取付金具の取付け作業を先に下で行ってからでも施工出来ます。

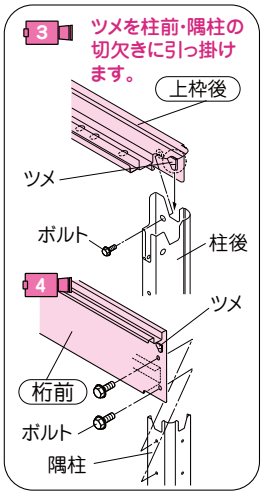
7 上枠前後の組立

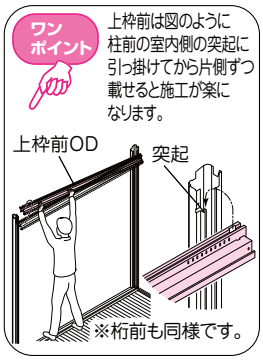
※この工程はHL型で説明しています。

使用ボルト	12本

①（上枠前OD）を柱前OD−左、中柱前の突起に差し込んでボルト止めします。
②（桁前）のツメを隅柱、中柱前の切欠きに引っ掛けてボルト止めします。
③上枠後のツメを柱後、中柱後の切欠き部に引っ掛けてボルト止めします



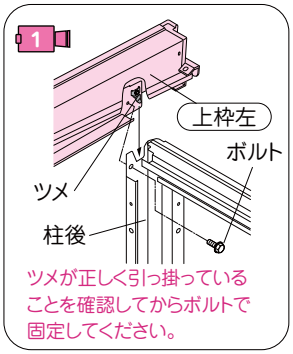




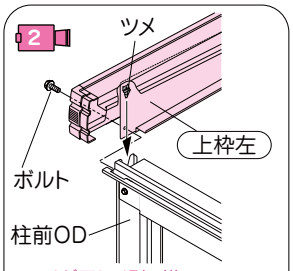
8 上枠左右の組立

使用ボルト	4本

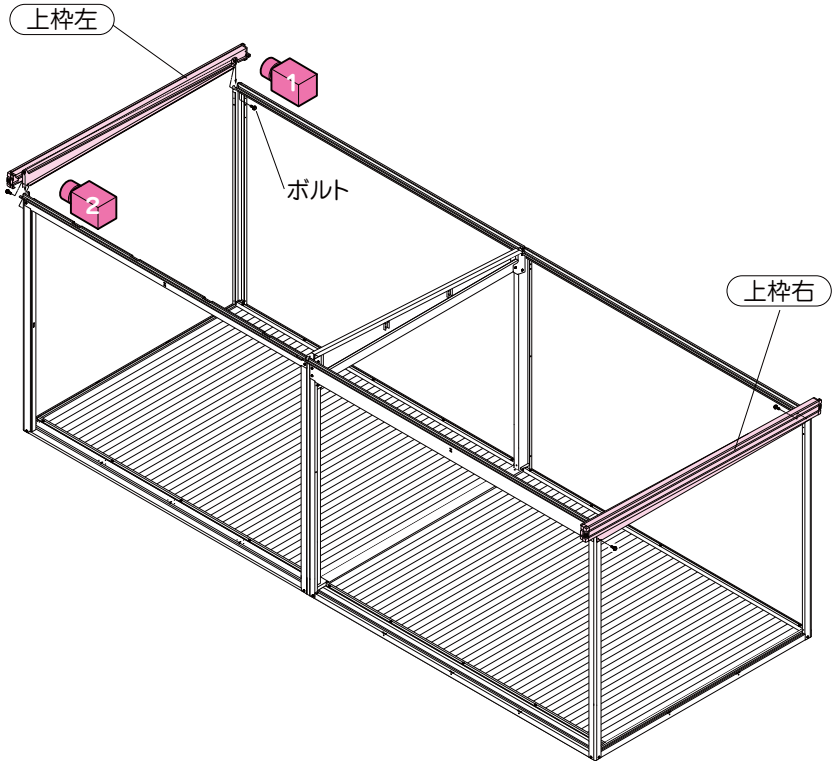
①上枠左・上枠右を柱に取付けます。



ツメが正しく引っ掛っていることを確認してからボルトで固定してください。



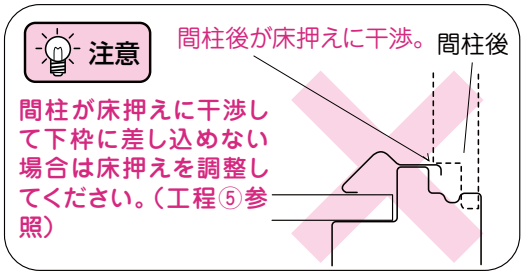
ツメが正しく引っ掛っていることを確認してからボルトで固定してください。

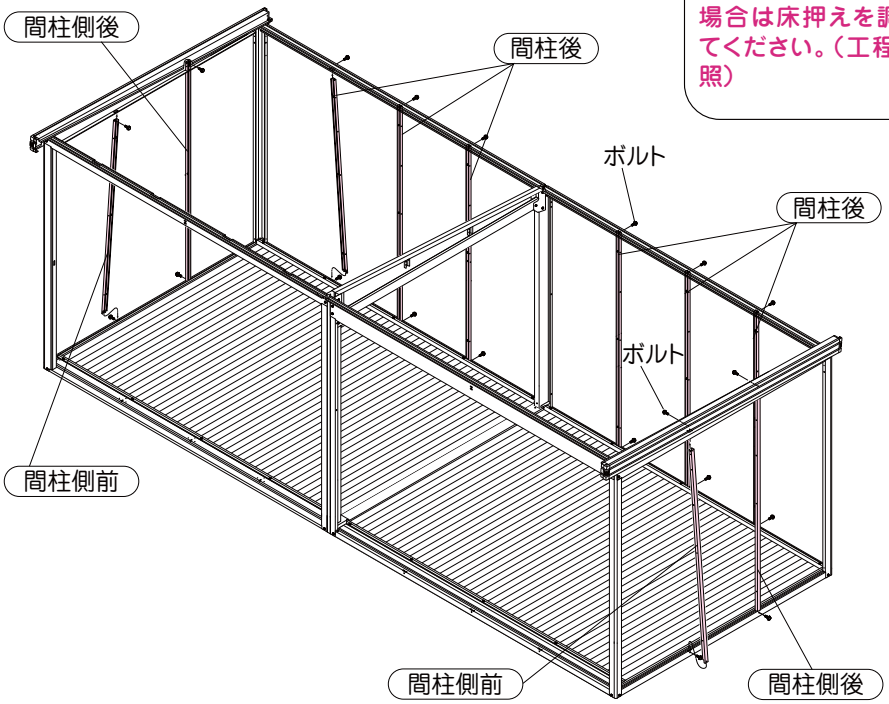


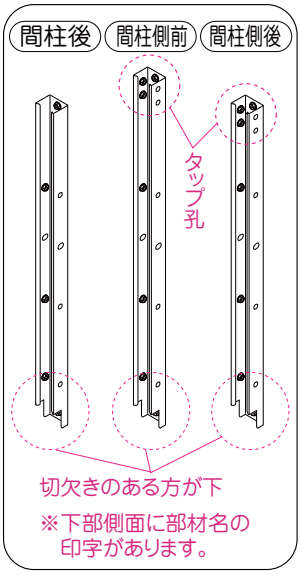
9 間柱側・後の組立

使用ボルト	20本

①間柱後の上端を上枠後に差し込み次に下端を下枠に差し込んでボルト止めします。
②間柱側も同様にして取付けます。







10 屋根連結材の取り付け

使用ボルト	6本

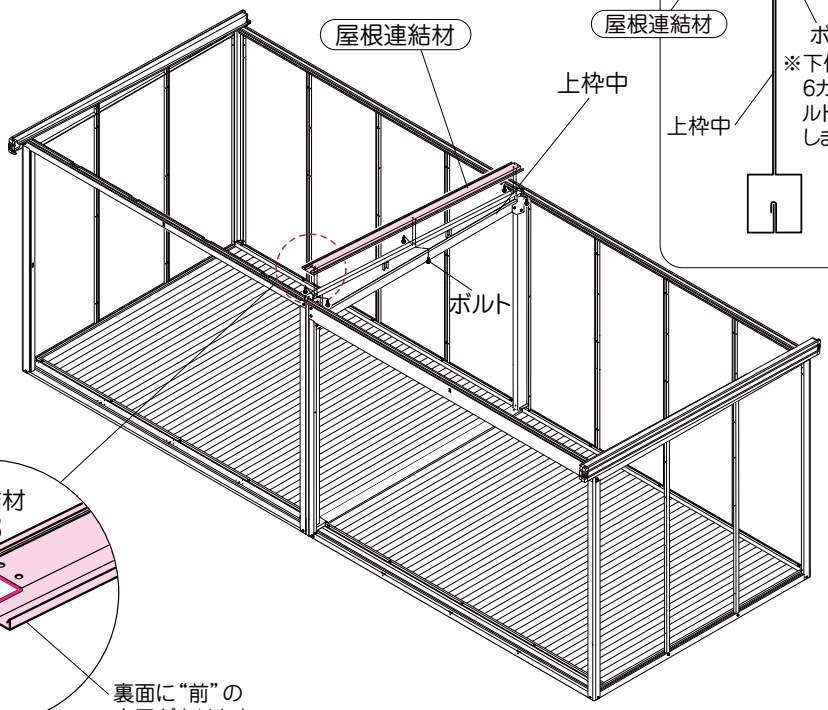
① 屋根連結材 を上枠中に取付けます。

注意

電動工具が使いにくい場所をボルト止めしますのでスパナ等を使って手でボルトを締め付けてください。

注意

屋根連結材には前後がありますので注意してください。



11 屋根の組立

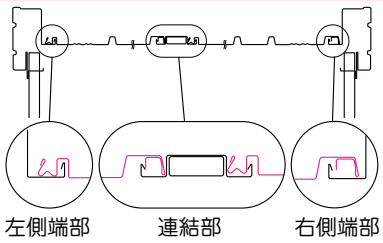
使用ボルト	間口51タイプ	56本
	間口58タイプ	64本

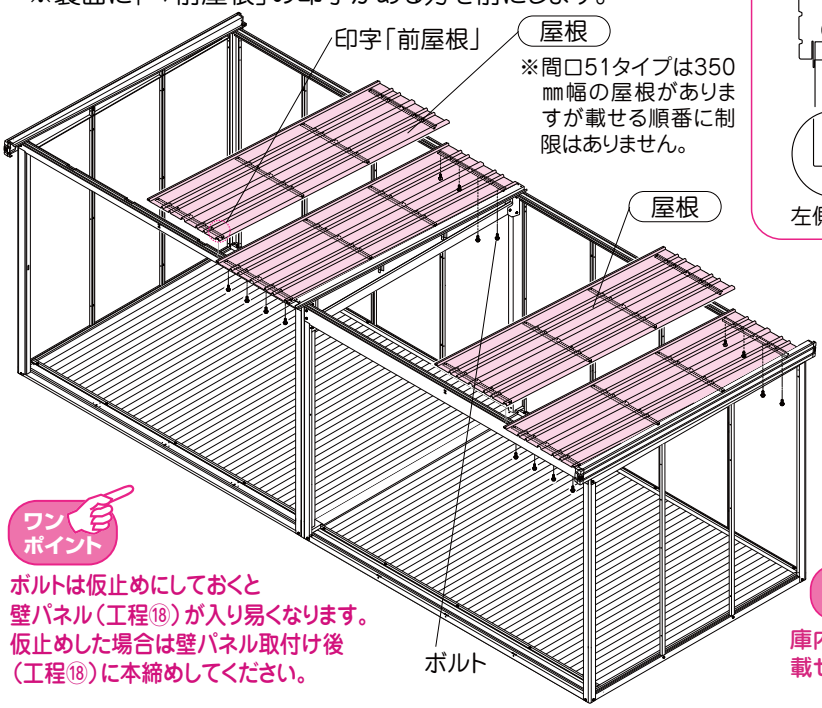
① 屋根 を連結部の右側、左側それぞれ右端から順番に載せて桁前、上枠前、上枠後にボルト止めします。

※裏面に「⇒前屋根」の印字がある方を前にします。

⚠ 注意

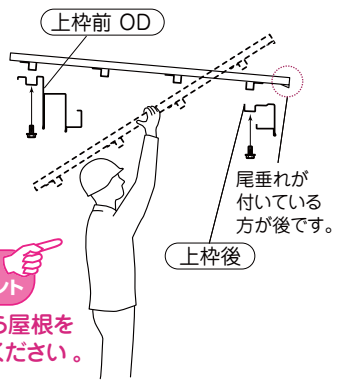
屋根は正しく重ねてください。正しく重ねないとボルトの固定孔が合わなくなります。
また漏水の原因にもなります。





ワンポイント

ボルトは仮止めにしておくと壁パネル（工程⑱）が入り易くなります。仮止めした場合は壁パネル取付け後（工程⑱）に本締めしてください。



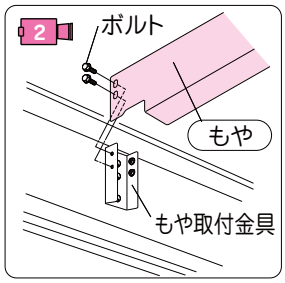
ワンポイント

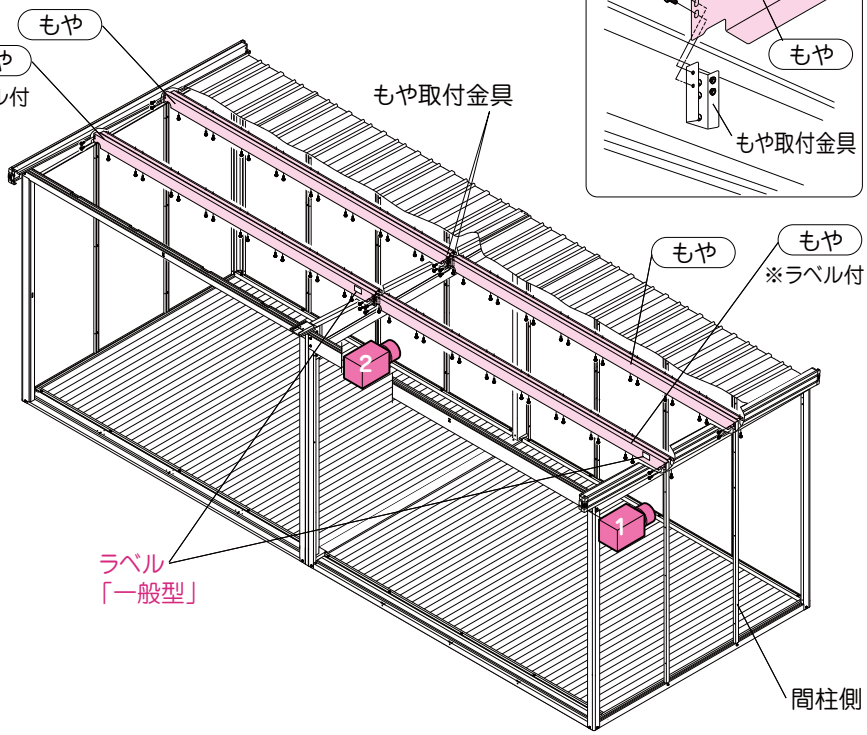
庫内から屋根を載せてください。

12 もやの組立 ●一般型の場合

使用ボルト		
	間口51タイプ	72本
	間口58タイプ	80本

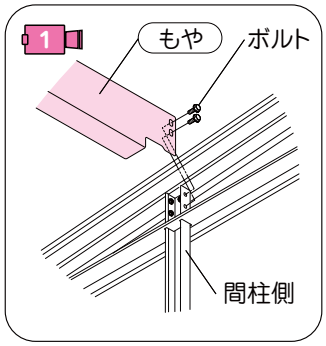
①（もや）を正面から間柱側に載せてボルト止めします。
②（もや）と屋根をボルト止めします。





注意

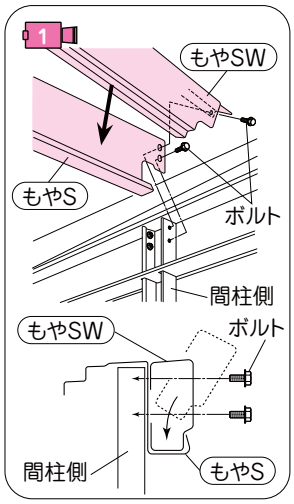
（もや）は4本共同じ形状です。一番前には「一般型」のラベルが貼りつけてある（もや）を取り付けてください。

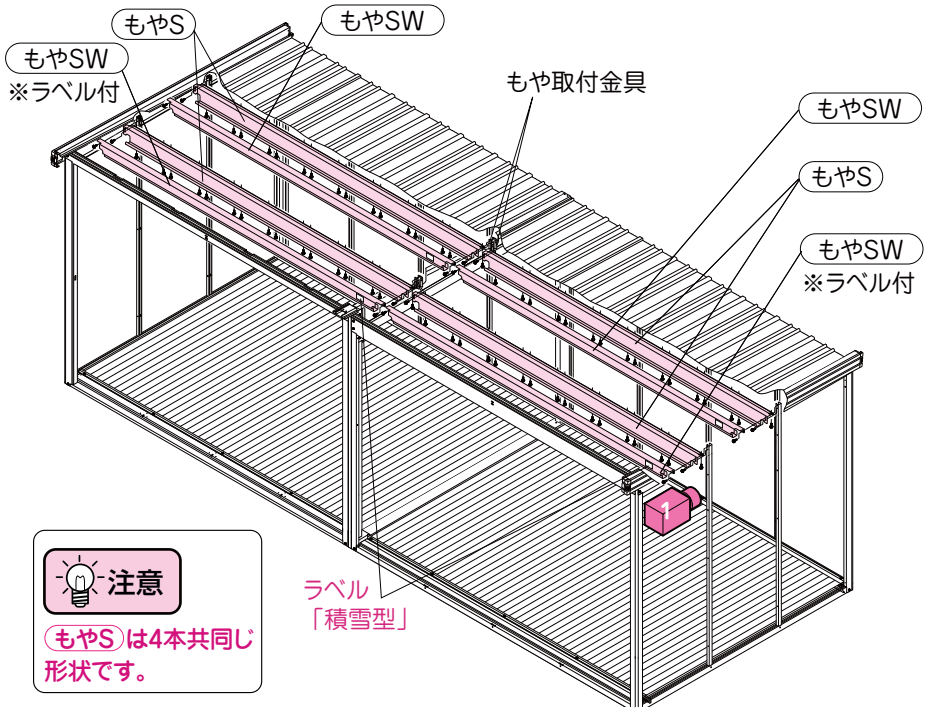


13 もやの組立 ●積雪型の場合

使用ボルト		
	間口51タイプ	72本
	間口58タイプ	80本

①（もやS）を正面から間柱側、もや取付金具に載せて下側の孔をボルト止めします。
②正面から（もやSW）を（もやS）に落としこみボルト止めします。
③（もやS）と屋根をボルト止めします。





注意

（もやS）は4本共同じ形状です。

注意

（もやSW）は4本共同じ形状です。一番前には「積雪型」のラベルが貼りつけてある（もやSW）を取り付けてください。

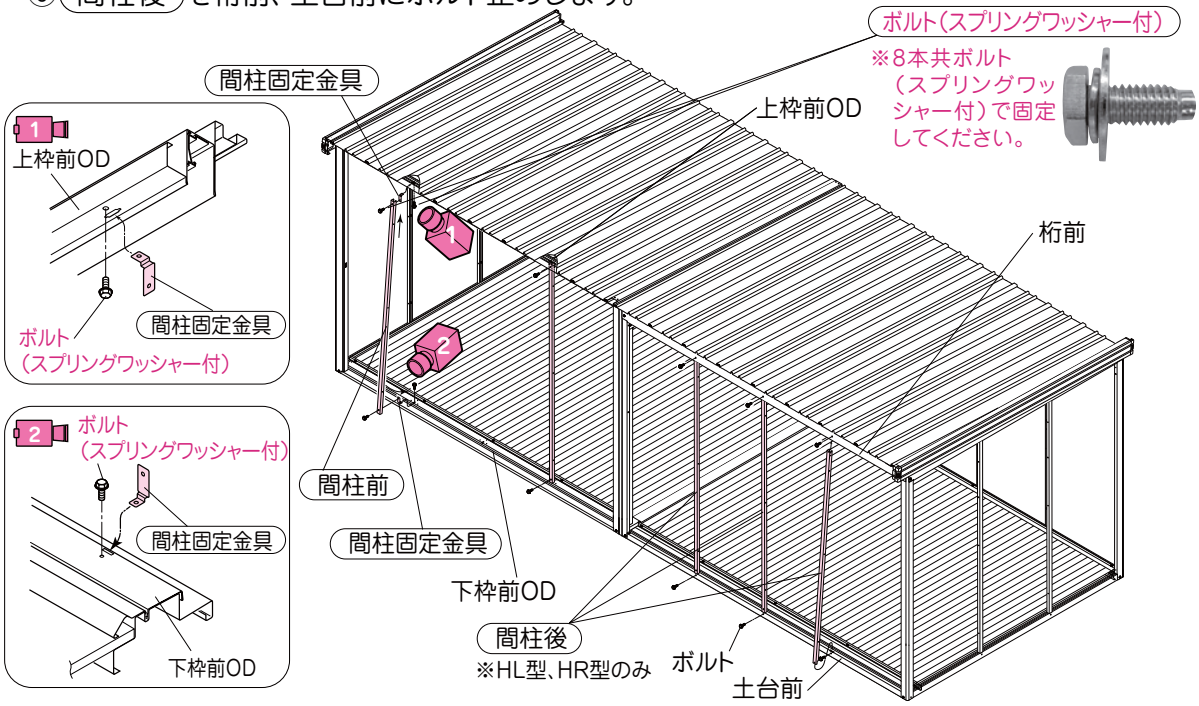
14 間柱前の組立

※この工程はHL型で説明しています。

使用ボルト	ボルト（スプリングワッシャー付） 8本（16本）
	6本（0本）

※（　）内はHW型

①（間柱固定金具）を開口部側の上枠前OD、下枠前ODそれぞれに差し込みボルト止めします。
②（間柱前）を間柱固定金具にボルト止めします。
③（間柱後）を桁前、土台前にボルト止めします。



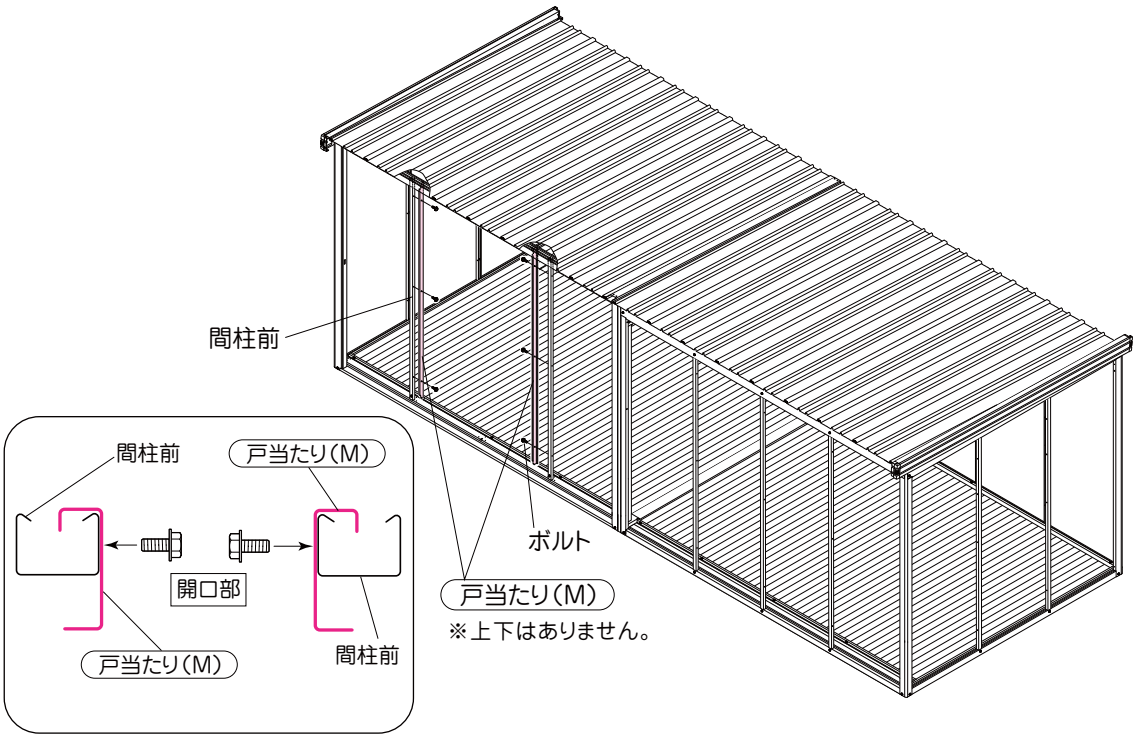
15 戸当たり（M）の取付け

※この工程はHL型で説明しています。

使用ボルト	6本（12本）

※（　）内はHW型

①（戸当たり（M））を開口部側の間柱前に仮止めします。
※扉吊り込み後に扉に干渉しないように前後調整して固定してください。－工程㉒参照

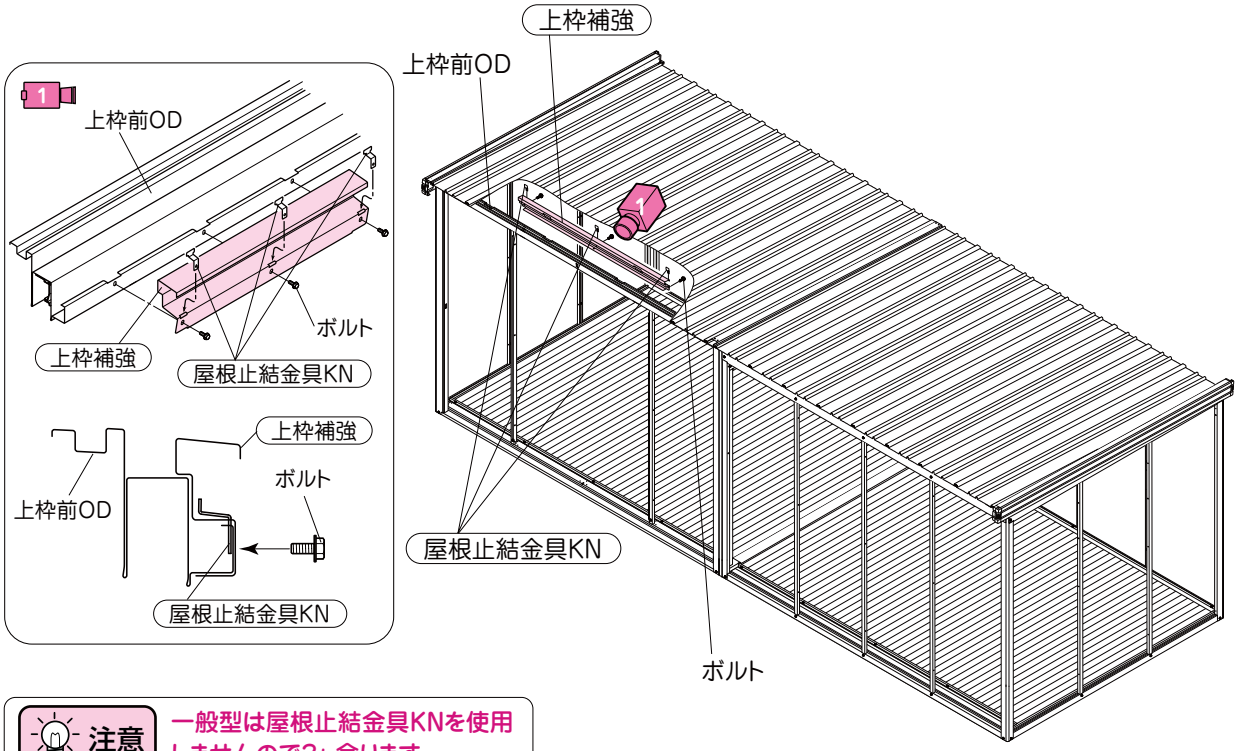


16 上枠補強の取付け（積雪型のみ）

使用ボルト	3本（6本）

※（　）内はHW型

①（上枠補強）を（屋根止結金具KN）とボルトで上枠前ODに固定します。



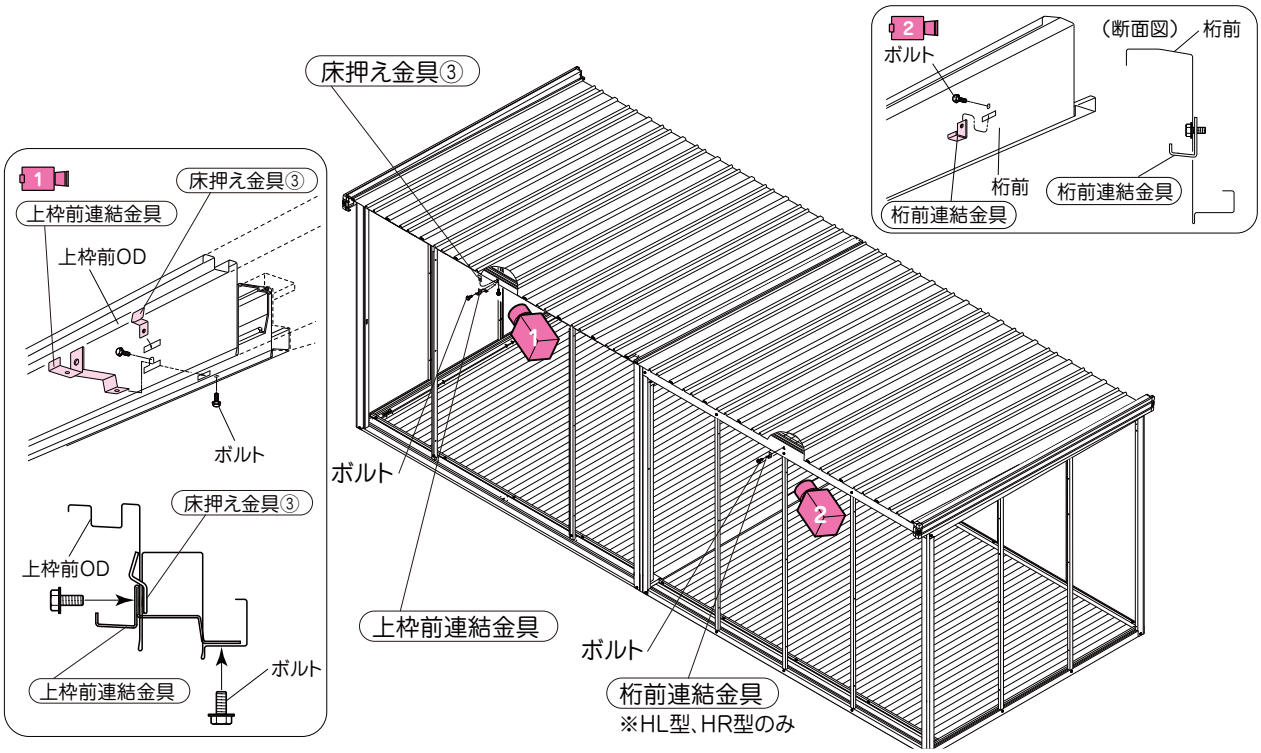
注意 一般型は屋根止結金具KNを使用しませんので3ヶ余ります。

17 上枠前連結金具の取付け

使用ボルト	3本（4本）

※（　）内はHW型

①（上枠前連結金具）を上枠前ODの中央に差し込み（床押さえ金具③）とボルトで固定します。
②（桁前連結金具）を桁前の中央に差し込みボルトで固定します。



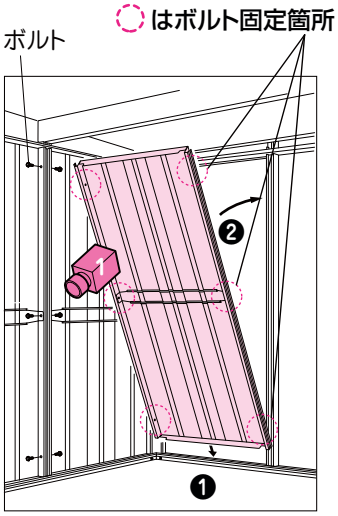
18 壁パネル・袖壁の取付け

使用ボルト	120本（108本）

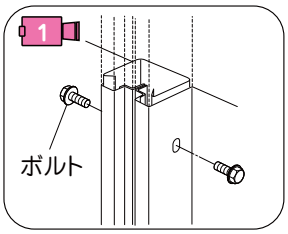
※（　）内はHW型

①室内から（壁パネル）・（袖壁パネル）をはめ込みます。（下を先に入れて上をはめ込みます。）
②柱・間柱にボルト止めします。

注意 ボルト固定しないと倒れてくるので1枚ずつ取り付けてください。

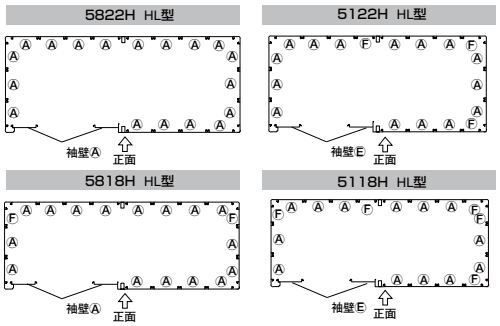


ワンポイント
ボルト固定孔が合いにくい場合は屋根の固定ボルトを緩めると合わせやすくなります。

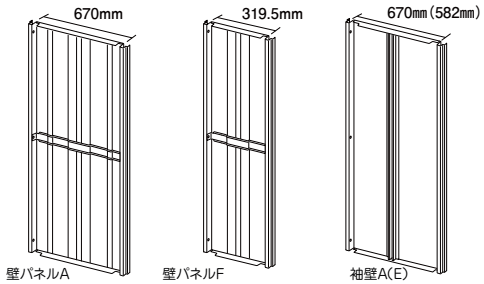


注意 壁パネルと下枠に三角形状のすきまが発生したり隣同士の棚受け取付けの角孔が上下方向にずれる場合は、下枠の水平、本体の建ちを確認してください。

壁パネルの取付位置



壁パネルの種類

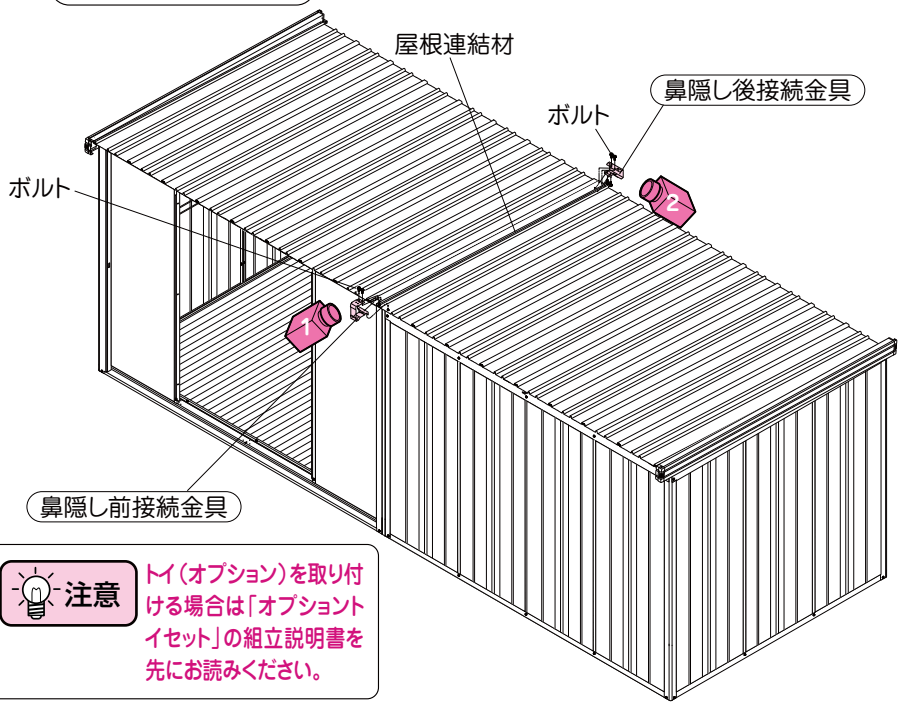


※壁パネル、袖壁共に上下の区別はありません。

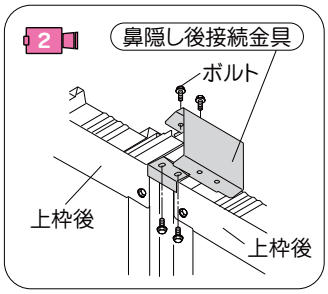
19 鼻隠し接続金具の取付け

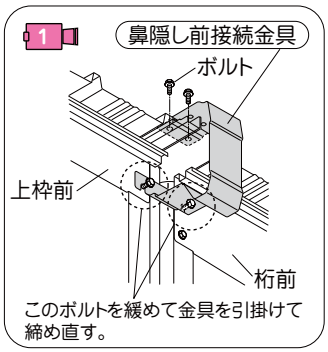
使用ボルト	6本

①（鼻隠し前接続金具）を屋根連結材の前端部と上枠前にボルト止めします。上枠前のボルトは一旦ゆるめて鼻隠し前接続金具の下部切欠きをひっかけてボルトを締め直します。
②（鼻隠し後接続金具）を屋根連結材の後端部にボルト止めします。



注意 トイ（オプション）を取り付ける場合は「オプショントイセット」の組立説明書を先にお読みください。

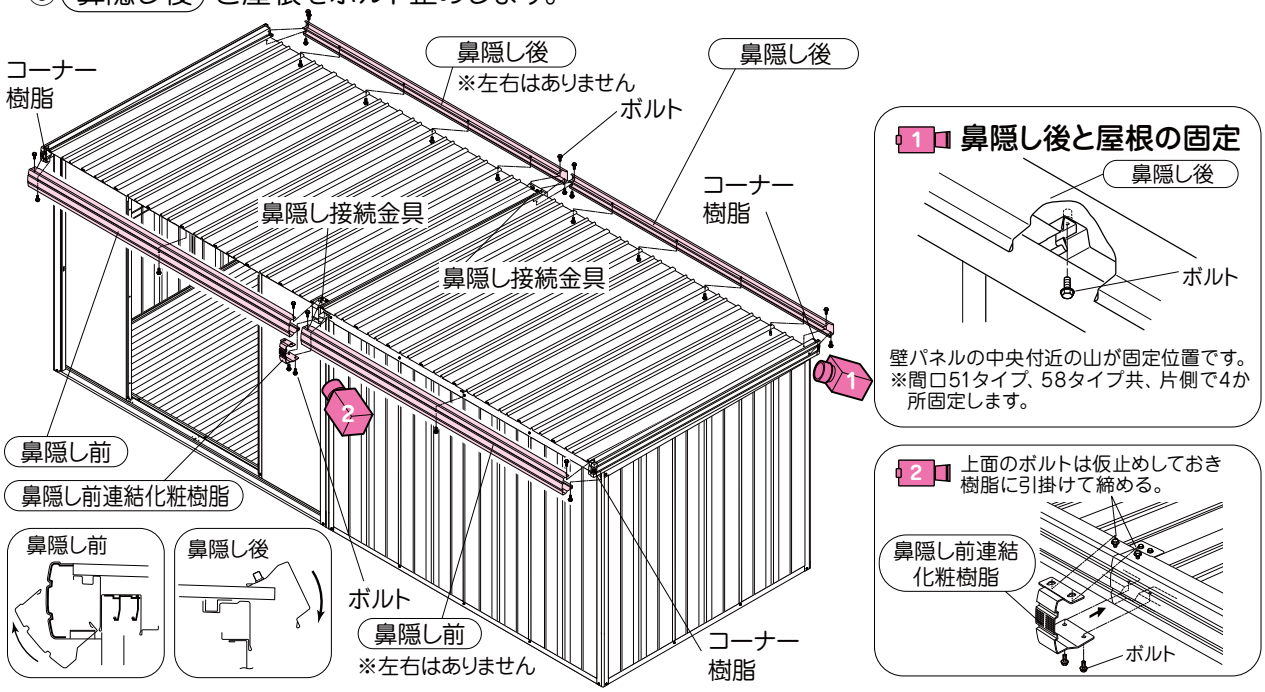




20 鼻隠しの取付け

使用ボルト	26本

①（鼻隠し前）をコーナー樹脂、鼻隠し前接続金具にかぶせるように取付けボルト止めします。
連結部分は（鼻隠し前連結化粧樹脂）を上からかぶせてボルト止めします。
②（鼻隠し後）をコーナー樹脂、鼻隠し後接続金具にかぶせるように取付けボルト止めします。
③（鼻隠し後）と屋根をボルト止めします。

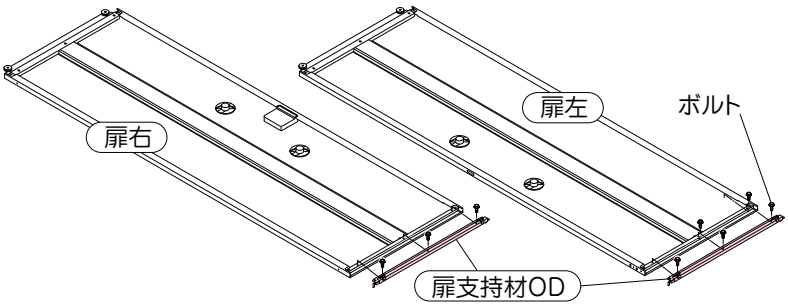


21 扉の吊り込み（1）

使用ボルト	6本

注意 扉を吊り込む際は下枠前ODの上面に砂埃が無いことを確認してください。

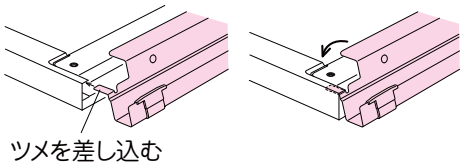
①（扉支持材OD）を（扉右）・（扉左）に取付けます。



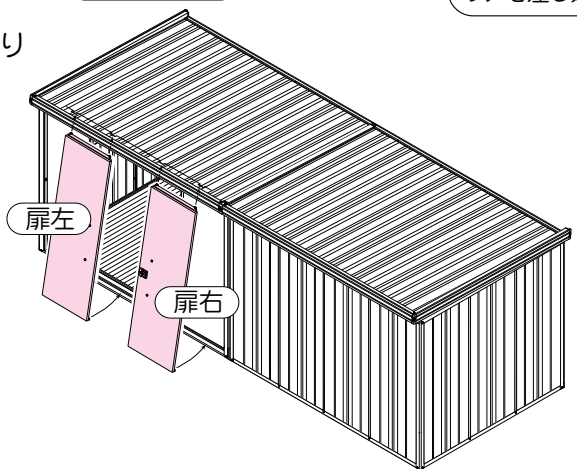
扉支持材（OD）の取付け方

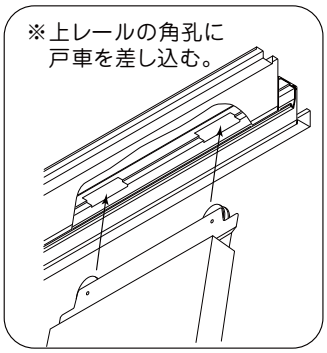
ツメを扉の長手方向折曲げ部の中に差し込みます。

扉支持材を扉にかぶせる様に回転させます。



②（扉右）・（扉左）を吊り込みます。





22 扉吊り込み(2)

使用ボルト	0本

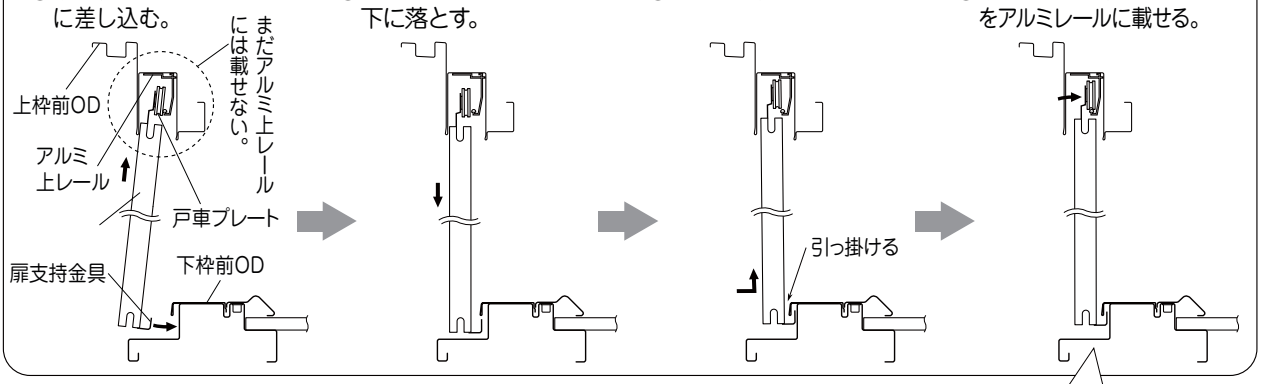
扉の吊り込み手順

①扉の戸車プレートを角孔に差し込む。

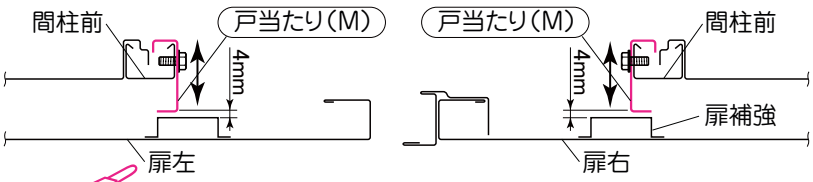
②アルミレールに載せずに下に落とす。

③下部を奥に押し当てる。

④扉を持ち上げ戸車プレートをアルミレールに載せる。

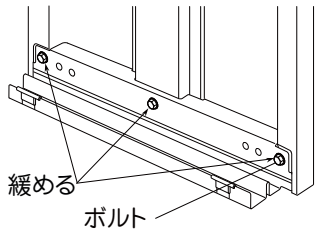


③ 戸当たり（M） と扉補強の隙間が4㎜程度になる位置で 戸当たり（M） を固定してください。



ワンポイント 扉フランジと戸当たり（M）が干渉して扉が最後まで閉まらない場合は戸当たり（M）を少し屋外側にずらして固定してください。

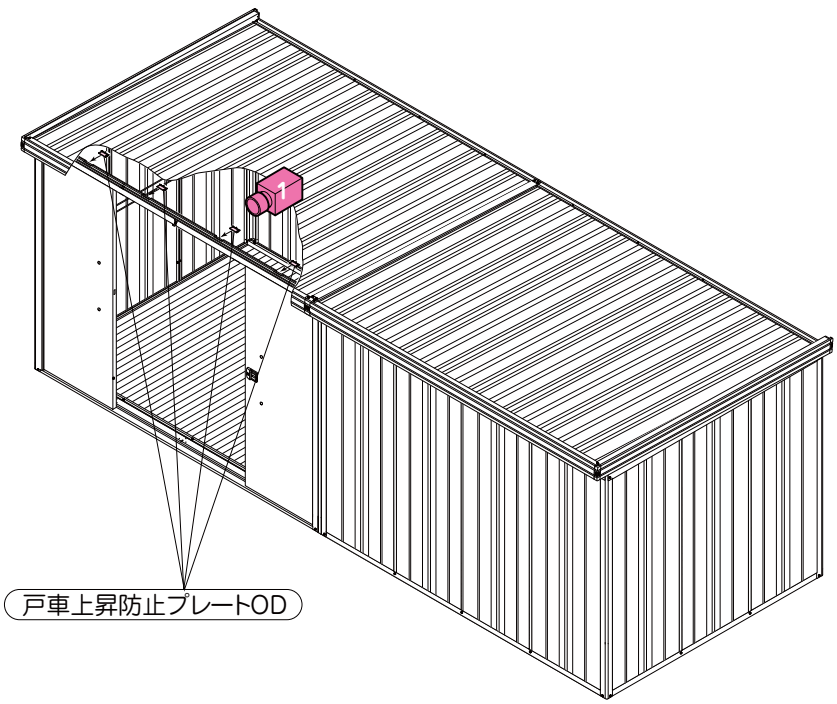
扉が吊り込みにくい場合は、
扉支持材のボルト（3か所）を緩めて吊り込んでください。吊り込み後、ボルトを締めます。

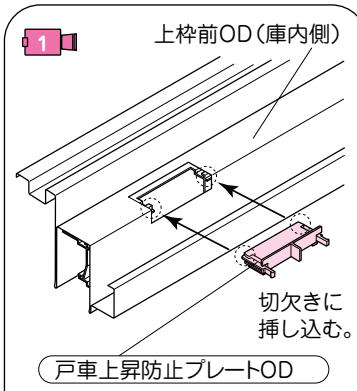


23 戸車上昇防止プレートの取付け

使用ボルト	0本

① 戸車上昇防止プレートOD を上枠前ODに取付けます。（4か所）





※はずす時はツマミを持って手前に引きます。

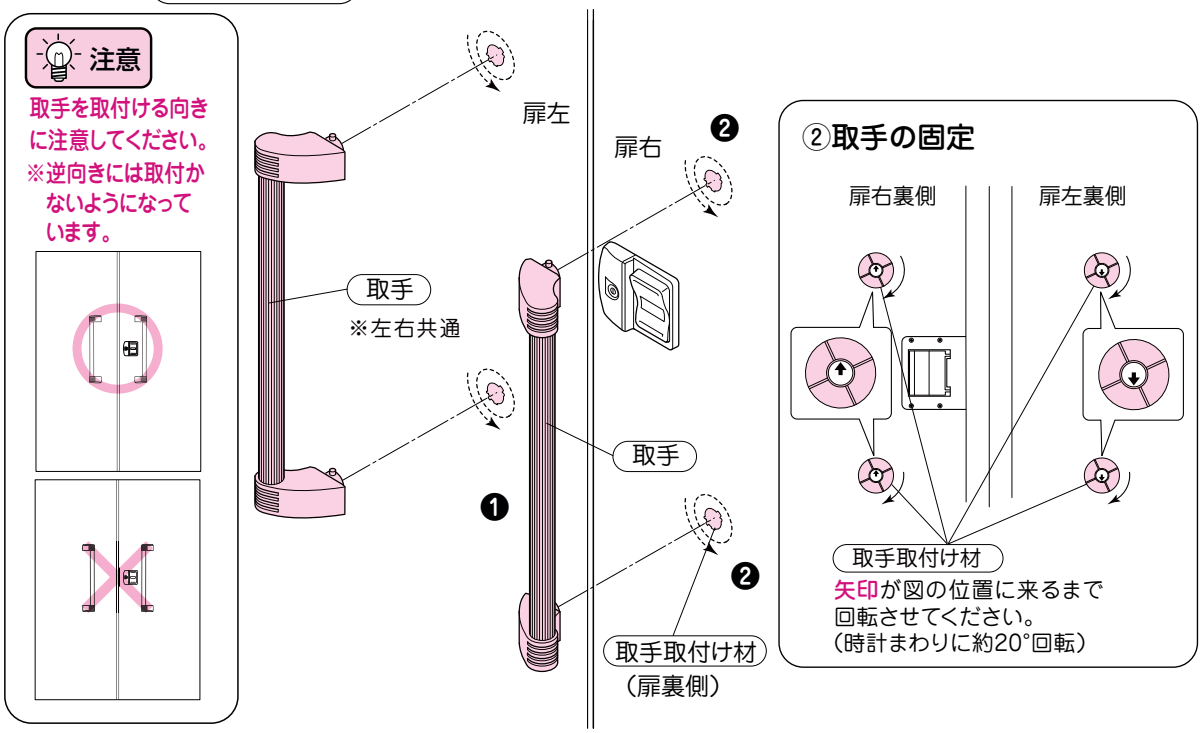
注意

戸車上昇防止プレートODは必ず取付けてください。扉を開閉した時に扉が外れる原因になります。また扉を外す時は必ず戸車上昇防止プレートODを取外してください。

24 取手の取付け

使用ボルト	0本

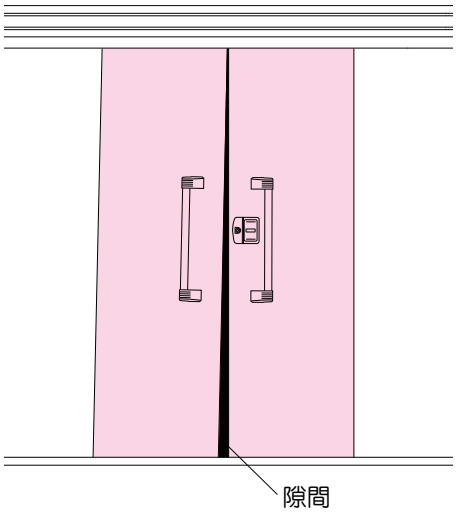
①（取手）を扉右・扉左の取付け孔に差し込みます。※向きがありますので注意してください。
②扉裏の（取手取付け材）を回して取手を固定します。

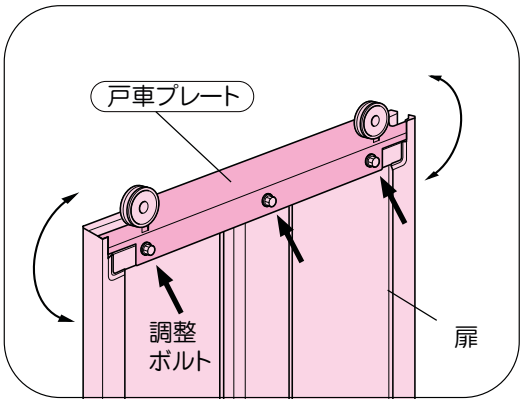


25 扉の建付け調整

①扉を閉めて柱と扉との隙間を確認します。

隙間がある場合や隙間が無くても鍵が掛かりにくい場合は、
戸車を固定しているボルト（調整ボルト）をゆるめて調整します。





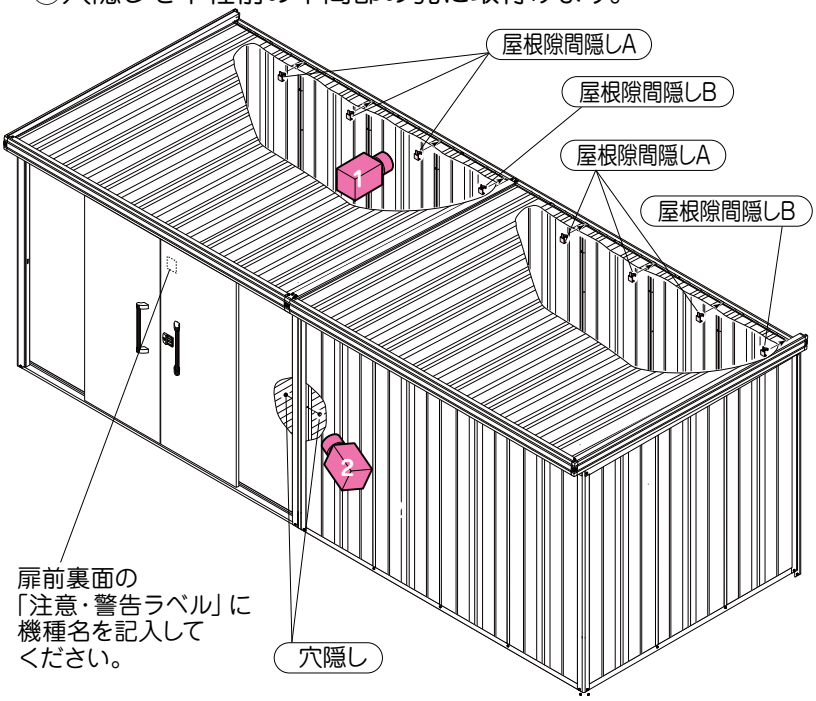
注意　建付け調整で直らない場合は、基礎の水平、本体の建ちを直してください。

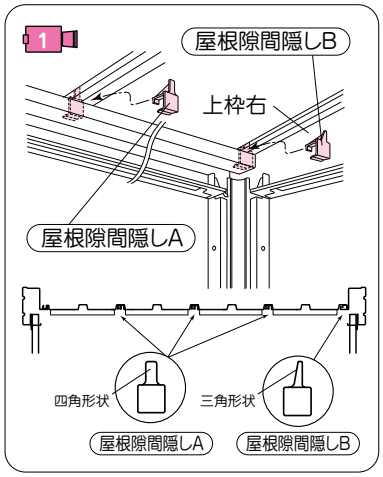
ワンポイント　ボルトをゆるめて庫内から扉を閉めて扉同士が沿うように手で押さえながらボルトを締め直します。

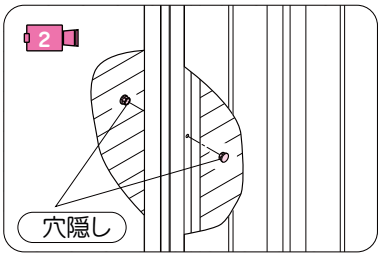
26 その他部品の取付け

使用ボルト	0本

①扉裏面の注意・警告ラベルに〝機種名〟を記入します。
②（屋根隙間隠しA）を上枠後の屋根の重ね部に、（屋根隙間隠しB）を上枠後の屋根と上枠右の重ね部に取付けます。
③穴隠しを中柱前の中間部の孔に取付けます。







●錠操作方法について

取扱い説明書「錠操作方法について」をご参照ください。

○組立てチェック

組立後に部品の付け忘れがないか、ご確認をお願いします。　チェック欄

①扉の建付け調整ができているかご確認ください。
②鍵が正常に作動するかご確認ください。
③戸車上昇防止プレートODが取りついているかご確認ください。
④棚板の配置確認をしてください。
⑤機種名が記入されたか確認してください。（扉裏面の注意・警告ラベル）

○こんな時は

・扉が外れてしまった。	戸車上昇防止プレートODを外して扉を吊り込みなおしてください。（工程㉑㉒㉓）
・取手が外れる。	取手取付け材の取付け角度を確認してください。（工程㉔）
・扉が最後まで閉まらない。	戸当たり（M）を調整してください。（工程㉒）

この組立説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています

お客様へ　組立説明書と取扱説明書は大切に保管してください。
施工業者の方へ　取扱説明書は大切な書類です。本書と取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

(5118H・5122H・5818H・5822H)
ヨドコウ
淀川製鋼
(2014年A制作)